

評価項目

※同一評価項目中、複数の評価基準に該当する場合は、最も配点が高い評価基準を加点する。

| 評価分類 | 評価項目 | 評価基準 | 配点 | 備考 | 定量・定性区分 | 様式 | |
|-----------------------|--------------------------|---|-----|--|---|------|------|
| 財務体質等 | 自己資本比率の状況 | 経営の安定度を評価 | | | ※計算に使用した証拠書類を提出 ※自己資本÷総資本×100 | 定量評価 | 様式6 |
| | | ○20%以上 | 7点 | | | | |
| | | ○10%以上20%未満 | 5点 | | | | |
| | | ○0%超10%未満 | 3点 | | | | |
| | 流動比率の状況 | 短期的な支払能力を評価 | | | ※計算に使用した証拠書類を提出 ※流動資産÷流動負債×100 | 定量評価 | 様式7 |
| | | ○150%以上 | 4点 | | | | |
| | | ○100%以上150%未満 | 2点 | | | | |
| | 経常利益の状況 | 総合的な成長を評価 | | | ※当期経常利益と前期経常利益を比較し、経常利益が増加しているか で判断 ※3ヶ年の状況で評価 ※当期経常利益が赤字の場合は、向上としない。 ※経常利益の証拠書類を提出 | 定量評価 | 様式8 |
| | | ○3ヶ年とも前期より向上 | 8点 | | | | |
| | | ○3ヶ年のうち2ヶ年が前期より向上 | 4点 | | | | |
| ○3ヶ年のうち1ヶ年が前期より向上 | | 2点 | | | | | |
| 過去3ヶ年の決算状況 (赤字の有無) | 収益力を評価 | | | ※計算に使用した証拠書類を提出 ※過去3ヶ年の損益計算書の経常利益で評価 | 定量評価 | 様式9 | |
| | ○赤字なし | 6点 | | | | | |
| | ○3ヶ年のうち1ヶ年が赤字 | 4点 | | | | | |
| | ○3ヶ年のうち2ヶ年が赤字 | 2点 | | | | | |
| キャッシュフローの状況 | 営業キャッシュフローで評価 | ○営業キャッシュフローが0円超 | 4点 | ※計算に使用した証拠書類を提出 ※キャッシュフロー計算書が未作成の場合は、財務諸表（貸借対照表、損益計算書）に基づく算出による評価を可とする。 | 定量評価 | 様式10 | |
| | | ○営業キャッシュフローが0円以下、または、上場企業でキャッシュフロー計算書を未作成 | 0点 | | | | |
| 地域精進度 | 事業者の所在地 | 本店、支店、営業所等の所在地を評価 | | | 定量評価 | 様式11 | |
| | | ○市内に本店あり | 3点 | | | | |
| | | ○市内に支店、営業所等あり | 2点 | | | | |
| | | ○府内に本店、支店、営業所等あり | 1点 | | | | |
| 市への社会貢献度 | 市との災害時応援協定等の締結による地域貢献の実績 | 災害時の応援等に係る市との災害時応援協定の締結の有無を評価 | | ※災害時応援協定等を市と締結している事業者を評価。事業者の所属している団体が、市との協定等を締結しているときも評価の対象とする。 | 定量評価 | 様式12 | |
| | | ○協定締結あり | 1点 | | | | |
| | | ○協定締結なし | 0点 | | | | |
| | | ○協定締結なし | 0点 | | | | |
| 事業者の実績・能力 | 事業者の同種業務の実績 | 事業者の同種・同規模業務受託実績を評価 | | ※「同種業務」とは、過去10年以内に履行完了した病院の新築又は改築（改修は除く）に係る要求水準書作成支援業務及び、デザインビルド方式による発注に係る事業者選定支援業務、設計段階CM業務 | 定量評価 | 様式13 | |
| | | ○再編統合を伴う公的、国公立病院に係る同種業務に加え、施工段階CM業務まで受託し、履行した実績あり | 20点 | | | | |
| | | ○公的、国公立病院に係る同種業務に加え、施工段階CM業務まで受託し、履行した実績あり | 5点 | | | | |
| | | ○上記いずれも実績なし | 0点 | | | | |
| 配置予定従事者の実績・能力 | 配置予定従事者の保有する資格 | 業務を執行する上で有効な国家資格等の有無を評価 | | ※「有効な国家資格等」の内容は、仕様書に明記する必須とするものを除く業務に必要な資格等とし、そのうち配点が高いひとつについて加点とする。 ※証明書、合格証等を提出すること。 | 定量評価 | 様式14 | |
| | | ○構造設計一級建築士、設備設計一級建築士 | 10点 | | | | |
| | | ○建築設備士 | 6点 | | | | |
| | | ○一級建築施工管理技士、一級管工事施工管理技士、一級電気工事施工管理技士、 | 2点 | | | | |
| | | ○評価該当資格なし | 0点 | | | | |
| | 配置予定従事者の業務実績 | 同種業務の実績の有無を評価 | | | ※本業務の管理技術者として配置予定の従事者の実績を評価する。 ※「同種業務」とは、過去10年以内に履行完了した病院の新築に係る要求水準書作成支援、デザインビルド方式による発注支援、及び設計段階CM業務、その他コンストラクション・マネジメント業務とする。 | 定量評価 | 様式14 |
| | | ○管理技術者として再編統合を伴う公的、国公立病院に係る同種業務に加え、施工段階CM業務まで従事した実績あり | 20点 | | | | |
| | | ○管理技術者として公的、国公立病院に係る同種業務に加え、施工段階CM業務まで従事した実績あり | 5点 | | | | |
| | 配置予定従事者の業務内容に関する専門知識等 | 同種業務内容に関する専門知識等の有無を評価 | | | ※「専門知識等あり」とは、配置従事者が建築コスト管理士又は認定ファシリティーマネージャーの資格を有している場合とする。 ※証明書、合格証等を提出すること。 | 定量評価 | 様式14 |
| | | ○専門知識等あり | 15点 | | | | |
| 研修体制 | 研修の実施 | 技術力向上のための研修の実施状況を評価 | 2点 | ※事業者独自の研修、外部での研修を問わないものとする。 ※警備業法に基づく法定研修は評価の対象としない。 ※報告書、受講修了証、レジュメ等で確認する。 | 定性評価 | 様式15 | |
| | 適正な履行確保のための研修計画 | 契約期間中の適正な業務履行確保のための研修計画の有無及び内容を評価 | 2点 | ※研修対象は現場の作業従事者とする。 ※事業者独自の研修、外部での研修を問わないものとする。 ※警備業法に基づく法定研修は評価の対象としない。 | 定性評価 | | |
| 履行体制 | 適正な履行確保のための業務体制 | 仕様書に基づく作業計画書の作成と業務内容を評価 | 15点 | ※作業計画書と仕様書との適合性を評価する。 | 定性評価 | 様式16 | |
| 品質保証への取組 | 品質マネジメントに関する取組状況 | 品質マネジメントに関する取組状況を評価 | | ※登録証の写しを提出 ・ISO9001（品質マネジメントシステム） ※ISOについては公益財団法人日本適合性認定協会のHPを参照 ※入札告示日現在の取得状況とする。 | 定量評価 | 様式17 | |
| | | ○ISO9001の認証取得の有無 | 2点 | | | | |
| | 苦情処理体制 | 苦情処理体制の整備状況を評価 | 2点 | ※苦情処理要領（マニュアル等）の有無、内容（役割分担、報告・指示及び結果報告系統、伝達方法の明記必須） | 定性評価 | 様式18 | |
| 男女協働参画の実現への取組 | 育児・介護の休暇休業制度への取組 | 出産育児に係る休暇休業制度の有無及びその内容を評価 | 1点 | ※育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律（平成3年法律第76号）の基準を明らかに下回る内容のものは減点する。 ※社内規定（労使協定等）の内容により評価する。 | 定性評価 | 様式19 | |
| | | 介護に係る休暇休業制度の有無及びその内容を評価 | 1点 | | | | |
| 地域活動への取組 | 事業者のボランティア活動への取組状況 | ボランティア活動の実績の有無とその内容を評価 | 1点 | ※事業者として、広く地域社会のため無償で行うもの。 【活動例】 ・会社周辺道路、公園等の清掃、草刈り・福祉施設への慰問 ・防犯パトロール等 ※活動地域は、本市の内外を問わない。 | 定性評価 | 様式20 | |
| 人権問題への取組 | 人権研修の実施状況 | 人権研修の実施の有無及びその内容を評価 | 1点 | ※研修報告書、研修に使用したテキスト等を提出 | 定性評価 | 様式21 | |

| 評価分類 | 評価項目 | 評価基準 | 配点 | 備考 | 定量・定性区分 | 様式 |
|------------|------------------------|--|------|--|---------|------|
| 情報保護に関する取組 | 個人情報保護に関する取組状況 | 個人情報保護に関する取組状況を評価 | 3点 | ※提案書、個人情報保護方針・マニュアル等、個人情報関連の資格認証の写し・登録証の写し等を提出 | 定性評価 | 様式22 |
| 実施方針等 | 実施方針・フロー・工程表 | 業務の実施方法や実施体制、工程表等を評価 | 12点 | 【評価基準】 ・事業の目的及び趣旨との整合性がとれているか。 ・事業が遂行可能な人員の確保がなされているか。 ・効果的な人員体制になっているか。 ・手法、日程等に無理はないか。 | 定性評価 | 様式23 |
| 特定提案等 | ① コストマネジメントの具体的な手法について | 基本設計からのデザインビルド方式での発注にあたり、コストマネジメントにおける課題と、それに対する具体的な取り組みについて病院建設の実例等を用いて提案すること。 | 15点 | ※特定テーマに係る提案内容の的確性、実現性、創造性等を評価 ※仕様書「委託概要」に記載の通り再編統合による整備であることを考慮すること。 【評価基準】 ・着眼点、問題点、解決方法等が網羅されているか。 ・事業の重要度を考慮した提案となっているか。 ・事業の難易度にふさわしい提案となっているか。 ・偏った内容の提案になっていないか。 ・提案内容が具体的かつ詳細で明確になっているか。 ・創造性又は新規性があり、技術的に優れているか。 ・実現可能性を具体的に説明しているか。等 | 定性評価 | 様式24 |
| | ② 品質確保の手法について | 基本設計からのデザインビルド方式での発注にあたり、品質確保における課題と、それに対する具体的な取り組みについて病院建設の実例等を用いて提案すること。 | 15点 | | | |
| | ③ スケジュールマネジメント手法について | 計画通りの開院、あるいは工程短縮を図るための課題と、それに対する具体的な取り組みについて病院建設の実例等を用いて提案すること。 | 15点 | | | |
| | ④ その他 | その他長期に渡り要求水準書の病院機能を維持することができる病院を実現するため基本計画から設計段階までのCM業務における具体的な取り組みについて病院建設の実例等を用いて提案すること。 | 15点 | | | |
| | | | 200点 | | | |